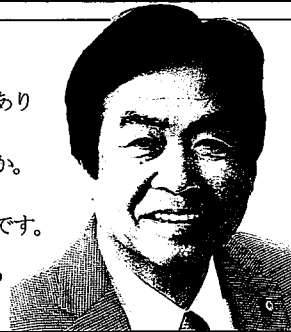


旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

秋の夜長を楽しく。

旭岳の雪化粧も一気に高度を下げつつあります。
秋の深まりをいかにお過ごしでしょうか。
かおる通信72号をお届けします。
ご高覧いただきご指導くだされば幸いです。
旭川市議会議員 **笠木かおる**



メジャー大会に378名がチャレンジ



旭川市内、最大規模のビック大会、15回目を数える「笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会」が8月22日、パークランド嵐山で開かれました。当日はお天気にも恵まれ378名の市民が難コースにチャレンジ。目の前の一球に、真剣なまなざしでプレーが展開されました。これからも「パークゴルフで健康な都市づくり」に努めていきます。尚、優勝者は次の通り。(成績表はホームページで公表しています)

- 70歳までの部 男子 優勝 水上一義 スコア90
- 70歳までの部 女子 優勝 川島しげ子 スコア100
- 71歳以上の部 男子 優勝 田中 肇 スコア94
- 71歳以上の部 女子 優勝 小野英子 スコア99

みんなの「居場所がある」街づくりに全力。



7月28日、旭川トーヨーホテルで「笠木かおる・夏の夕べ」が開かれました。夕べには、600人を超える皆様にご参加くださり、おひとりお一人から身に余る激励をいただきました。

感謝して、「市民みんなの居場所がある、日本一マナーのよい街づくりに全力をあげたい」と決意を述べさせていただきました。

声なき声を市政に。

9月10日から30日間の会期で第3回定例市議会が開かれました。議員の仕事の第一は、隅々の市民の声を市政に伝えることです。自分はその一番の方法は、議会で質問することにあると思います。今議会でも一般質問と2回の委員会質疑をする機会をいただきました。その要旨は裏面に記載いたします。



新庁舎の整備に向けて

新庁舎の整備に向けて、市議会調査特別委員会が断続的に開かれています。旭川市は今年度中に、建替えの場所や規模、機能や財源などを決定することにしています。市庁舎整備調査特別委員会の委員長として、各議員を通じて市民意思を取りまとめ新庁舎整備の基本構想に反映していきます。



旭正地区後援会設立総会



このほど旭正地区後援会(矢部茂弘会長)の設立懇談会をあさひかわ市農協・旭正基幹支所で開いていただきました。議員活動17年目ではじめて同地区に後援会が発足しました。気心が知れた人たちが増えることに喜びを感じながら、地域活動を進めていきます。

街頭に立つ



8月から9月にかけて随分と街頭にたち、マイクを握りました。市議会の報告、安保関連法案やTPP、労働者派遣法などについて自分の思いを述べました。「この国のかたち」が変わろうとすることに、率直な不安を抱えています。

共生園まつり

8月1日、2015年共生園まつりが盛大に開かれました。今年の特別ゲストは松村和子さん。予定時間をはるかに越え約1時間、「帰ってこいよ」などの熱唱。利用者のご家族、地域の人々などで楽しみました。それにしても前日の雨と当日の炎天下の中、共生園スタッフの準備から後片付けまでの作業姿には頭が下がります。「組織は人なり」です。



カムイの大地・ジオパーク構想



「旭川ジオパークの会」のご案内で7月17日、神居古潭峡谷などを観察しました。約1億2千年前にできたといわれる変成岩群や魔人が住むといわれる伝説の場所などを興味深く見聞。大雪山からの清流が石狩川に流れ行く。その一帯を大地の公園しようとする「世界ジオパーク認定」の活動が始まっています。

【近況】相変わらず長女・亜以夫婦と孫3人との「共同生活」。泣きあり、笑いあり、怒りあり。もう少し穏やかな時間が多くなればとの心境です。次女・香葉はジャマイカでの生活。夫・ゴーチ君が自動車修理工場を整備したとの、遙か地からの一報がありました。



ホームページで写真付ブログを毎日発信中です。

笠木かおる

検索

・第3回定例会議会での質問要旨を報告いたします。

◇地方版・総合戦略

(笠木) 人口減少・若者流失に危機感をもって地方版・総合戦略を事業化することが求められている。
(市長) 総合戦略に掲げた施策を積極的に推進する。平成28年度予算編成においても、新型交付金を活用するなどして、出来るだけ多くの施策を事業化していく。



◇複合体育施設の整備

(笠木) 東光スポーツ公園に整備予定の複合体育施設についての西川市長の所見は、
(市長) 多くの市民が早期完成を望んでおり、防災機能としても必要不可欠な施設であり、コスト削減を図りながら、スポーツ振興に寄与する施設整備を進めていきたい。

◇「カムイの大地・ジオパーク」の認定

(笠木) 「カムイの大地・ジオパーク」の認定に向けて、西川市長の見解を聞かせてほしい。
(市長) 今年度中に市役所内にワーキンググループ（作業部会）を立ち上げ、できるだけ早い時期にジオパーク構想推進のための準備委員会を設立したい。

◇季節保育所の通年制

(笠木) 「へき地保育所」という表現は変えるべきではないか。
(答弁) そぐわない面もあると考えている。
(笠木) へき地・季節保育所の通年化を考える時ではないか。
(答弁) へき地・季節保育所の通年化の検討をすすめ、早期に今後の方向性を整理していきたい。

◇雪置き場に公園の開放を

(笠木) 公園利用のルールを制度化して、地域の雪置き場として開放できないか。
(答弁) 今シーズンから街区公園や児童遊園の698箇所のうち堆雪スペースが確保できる公園を雪押し場として認めていきたい。使用の対象は町内会や市民委員会としたい。

インターネット回線の整備



インターネットは今や日常生活に欠くことのできない通信手段です。10月13日、旭川市とNTT東日本の担当者、光回線未整備地区の整備方法について意見交換しました。

農村部の定住化促進に、インターネット回線の整備は必要不可欠との思いで、調査を続けています。

冬季室内パークゴルフ場の整備を要望

7月28日、旭川市パークゴルフ協会（谷島公丸会長）の皆さんとともに、西川将人市長に対し、冬季室内パークゴルフ場の整備を要望しました。パークゴルフは65歳以上の高齢者が行うスポーツで断トツ1位の愛好者人口です。



冬の生活習慣病対策、認知症予防やストレス解消の面からも、冬季室内パークゴルフ場の実現をめざしていきたいと思ひます。



お祭り



旭川神社やペーパン・太田神社のお祭り、町内会や市民委員会、福祉施設など、8月から9月にかけて、多くのお祭りにご案内をいただきました。どこの会場も熱気にあふれ、みなさんの心意気が地域の繁栄に繋がればと願ひながら、暑い夏を楽しみました。



(写真：北海道療育園のお祭り)



最終学歴、旭商高校卒



母校・旭商高の生徒実習販売会、旭商野球部後援会や旭商吹奏楽部後援会の激励パーティー、旭商同窓会や同窓会のパークゴルフ大会、旭商クラブ例会など、このほど母校の行事に多く参加できました。

いつもそこにいらっしやるのは恩師で、笠木かおる後援会初代会長、現在顧問の荻野慶博先生。80歳になられたとのことですが、お元気でいつも前向きに活動するお姿に、ただただ頭が下がる思いでいます。

旭川の「開拓記念館」。

このほど、旭川市の「開拓記念館」ともいえる旭川兵村記念館に足を運びました。同館が収蔵する収蔵物・収蔵資料は約2500点。旭川開拓の歴史を知る最大の文化財的資料だけに、どう保存していくのか、市行政にもその役割の一端はあるものと思ひながら、貴重な収蔵品について勉強しました。



先輩を敬う



9月は敬老の月。各地域で敬老会が開かれました。旭川市の高齢者人口は104,807人。高齢化率は30%を超えました。その内、20,000人以上の方々が一人生ら高齢者です。議員の仕事は「365日毎日が敬老の日」と思ひ、人に優しい街づくりにがんばっていきます。

(写真：旭正地区敬老会)

ツデーウォーク

7月11日、旭川歩こう会（荒木喜一会長）が主管する「大雪ツデーウォーク」にご案内をいただきました。歩くことは人間の基本的動作で、有酸素運動をしながら様々な景色を眺めることは、健康増進に大きく寄与しています。自分ももう少し「歩くこと」に心がけようと思ひながらの参加でした。



プロレスラーの大仁田厚さんらが参戦してのプロレス「イジメ撲滅・地方創生！電流爆破マッチ」が9月17日、ウェスタン川端店特設リングで行われました。「本当に強い人はイジメなんかしないし、何度でも立ち上がる。まずは自分が強くなるしかない」といっけんなイジメ撲滅を訴えました。



(写真：大仁田さんと西川市長を表敬訪問)